

オートクチュールストールブランド VINITIQUE（ヴィニティーク）による
アンティークレースの魅力伝える展示及び販売会
長野県御代田町MMoP内Lagomにて

フランスボルドーで誕生し、現在は明治神宮の杜を臨むサロンを拠点に活動するオートクチュールストールブランドの VINITIQUE（ヴィニティーク）は、2022年7月14日から8月2日までの期間中、長野県御代田町の複合施設「MMoP（モップ）」（旧メルシャン軽井沢美術館跡地）内のライフスタイルショップ「Lagom」にて、アンティークレースを用いたインスタレーション作品の発表およびストールの展示販売を行います。

VINITIQUEは急速に失われていく伝統や素材を新しい視点で捉えて再制作する事を目標に掲げ、フランスやイタリア、日本の貴重な天然素材を用いて、一枚一枚ハンドメイドでストールやショールを中心としたファッションアイテムを仕立ててきました。

2019年からは、アンティークレースの世界的コレクターであるダイアン・クライス女史の協力を得て、アンティークレースを現代に蘇らせるプロジェクトをスタートさせました。

2021年には資生堂ザ・ギンザ スペースにて、19世紀ベルギーで制作されたブリュッセル・アプリケーションレースの手仕事とは信じがたい精緻な模様を、独自に開発したレトロな投写装置を用いて、壁面天井全体に映し出すインスタレーション作品を発表。
今回もこのインスタレーションを再展示します。

また新しい試みとして、実体顕微鏡に特殊カメラを接続し、レースの拡大画像を撮影した写真作品を発表します。

それらはルーペを用いずに、名もなき職人たちが向上心の末にたどり着いた技の極み、そして歴史と文化的価値を併せ持った美しさを顕在化させる試みです。



2021 資生堂ザ・ギンザ スペース
installation view

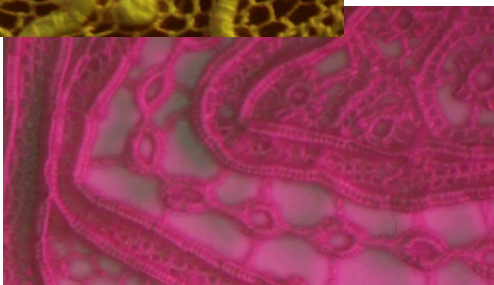


MMoP（旧メルシャン軽井沢美術館跡地周辺）

併せて展示するのは「ウォー・レース」。1914年に第一次世界大戦がはじまり、ベルギーの5万人にも及ぶレース職人たちの生活は一変しました。亜麻の畑が壊され、彼らの生命の糸は切れてしまいます。それを救うために、のちのアメリカ第31代大統領ハーバート・クラーク・フーヴァーによってベルギー救済委員会が設立され、食料の他、レース職人たちのために糸が供給され、レース産業の維持が図られました。この時期のベルギーのレースが「ウォー・レース」と呼ばれ、世界平和への深いメッセージが込められたレース作品です。

会場内には同じく19世紀につくられたオルゴール「ステラ」（河口湖音楽と森の美術館蔵）も特別に展示され、繊細な音色で空間を彩ります。

同時期にMMoPでは2018年にスタートした「浅間国際フォトフェスティバル 2022」が開催され、アートフォトに特化した美術館「御代田写真美術館」も開館する予定。これらのフォトイベントと共に、アンティークレースの素晴らしさをレンズを通して浮かび上がらせる展覧会をお楽しみいただき、VINITIQUEを知っていただく機会としたいと考えています。



2021 資生堂ザ・ギンザ スペース
installation view

実体顕微鏡にて撮影
19世紀 フランス
ポアン・ド・アランソンレース

当展示会についてのお問い合わせは下記までお願いいたします
株式会社VINITIQUE

TEL 03-6427-4074 MAIL contact@vinitique.net

VINITIQUE（ヴィニティーク）

瀬口美香が設立したオートクチュールストール・ブランド。

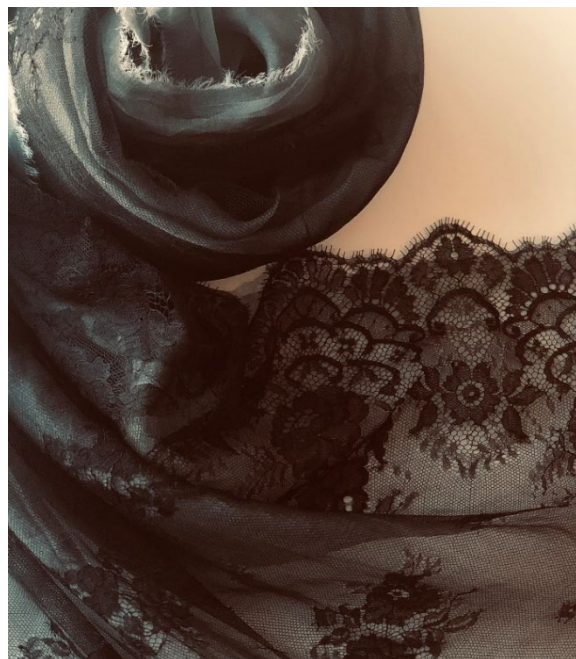
瀬口は東京生まれ、2006年にフランスのボルドー郊外のブドウ畑の中にアトリエを構え、着られなくなったドレスをリメイクしてストールをつくりはじめる。2014年に明治神宮の杜を臨む古い建物の小さな一室に、オートクチュールストールのサロンをオープン。急速に失われていく伝統や素材を新しい視点で捉えて再制作する事を目標に掲げ、フランスやイタリア、日本の貴重な天然素材を用いて、一枚一枚ハンドメイドでストールやショールを仕立てている。2018年にアンティークレースの世界的コレクターであるダイアン・クライス女史と出逢った事をきっかけに、アンティークレースを現代に蘇らせるプロジェクトをスタート。VINITIQUEとはワインを意味するラテン語VINIを由来につくった名前です。上質なワインの様に、年を重ねて魅力を増すものをつくりたいという瀬口の想いが込められている。

Diane Clacys（ダイアン・クライス/アンティークレース鑑定家、コレクター）

1954年、ベルギーアントワープ生まれ。レース職人にてコレクターだった祖母の膨大なレースコレクションに囲まれて育つ。コレクションの制作年代や時代背景などを調べていく子供時代を過ごし、1980年から85年まで、世界有数のアンティーク・レースコレクションを持つ英国・ロンドンのヴィクトリア&アルバート美術館で学ぶ。2005年、愛知万博でのベルギー館プロデュースを機に日本に移住。以来、日本を拠点にアンティーク・レースの収集、研究や講演を行っている。「VINITIQUEはかつて王族や貴族によって大切にされていた歴史的なレースに新しい命を吹き込むことができる」と、VINITIQUEの活動を高く評価している



貴重なシルクレースを用いたストール作品





ウォー・レース

手法:ポワン・ド・パリ、ボビンレース

産地:ベルギー

製作年1914-18年

サイズ:130×130

このテーブルクロスには、第一世界大戦時の連合国や同盟国のメダリオンが飾られている。メダリオンとして、日本、モンテネグロ、イタリア、中国、ポルトガル、アメリカ、イギリス、ブラジル、ロシア、フランス、ルーマニア、セルビア、ベルギー、ギリシャの国々の紋章が並ぶ。

オルゴール「ステラ」

(19世紀、河口湖音楽と森の美術館蔵)

796年にスイスで発明されたオルゴールは、当初は小物入れ等に組み込まれていたが、のちに音楽鑑賞用として発展し、1885年、鋼鉄製の金属の歯（櫛歯）を金属製の突起（ピン）で弾き、振動を木製の箱に伝えて音を奏でるディスクオルゴールが、ドイツで発明される。ステラはディスクに突起がない独特なもので、その繊細で煌めくような音色が特徴。



ブリュッセル・アプリケーションレース

手法:ニードルポイント・アプリケーション

産地:ベルギー

制作年:19世紀

機械でつくったネットに、針でつくった繊細なモチーフを手仕事でつなぎ合わせている。ネットにレースのモチーフを正確にアプリケーションするのに非常に長い時間が必要で、この技法は19世紀にベルギーで普及した。花輪のモチーフは献身、名誉、幸運を象徴し、ハートのモチーフはこのレースを纏った女性の詩的でエレガントな性質を表している。



MMoP（旧メルシャン軽井沢美術館跡地周辺）



MMoP内ライフスタイルショップ「Lagom」